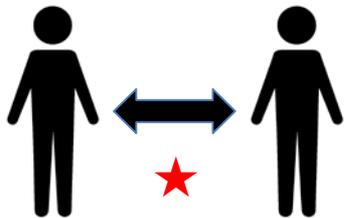


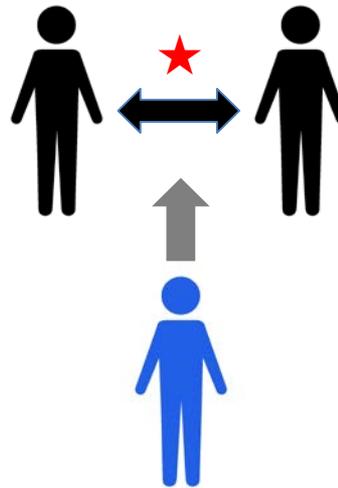
調停技法登場の背景 米国における経緯

様々な紛争解決システム

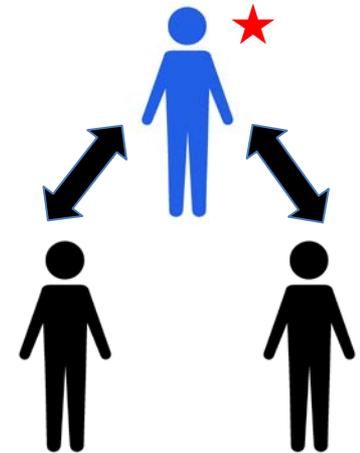
交渉



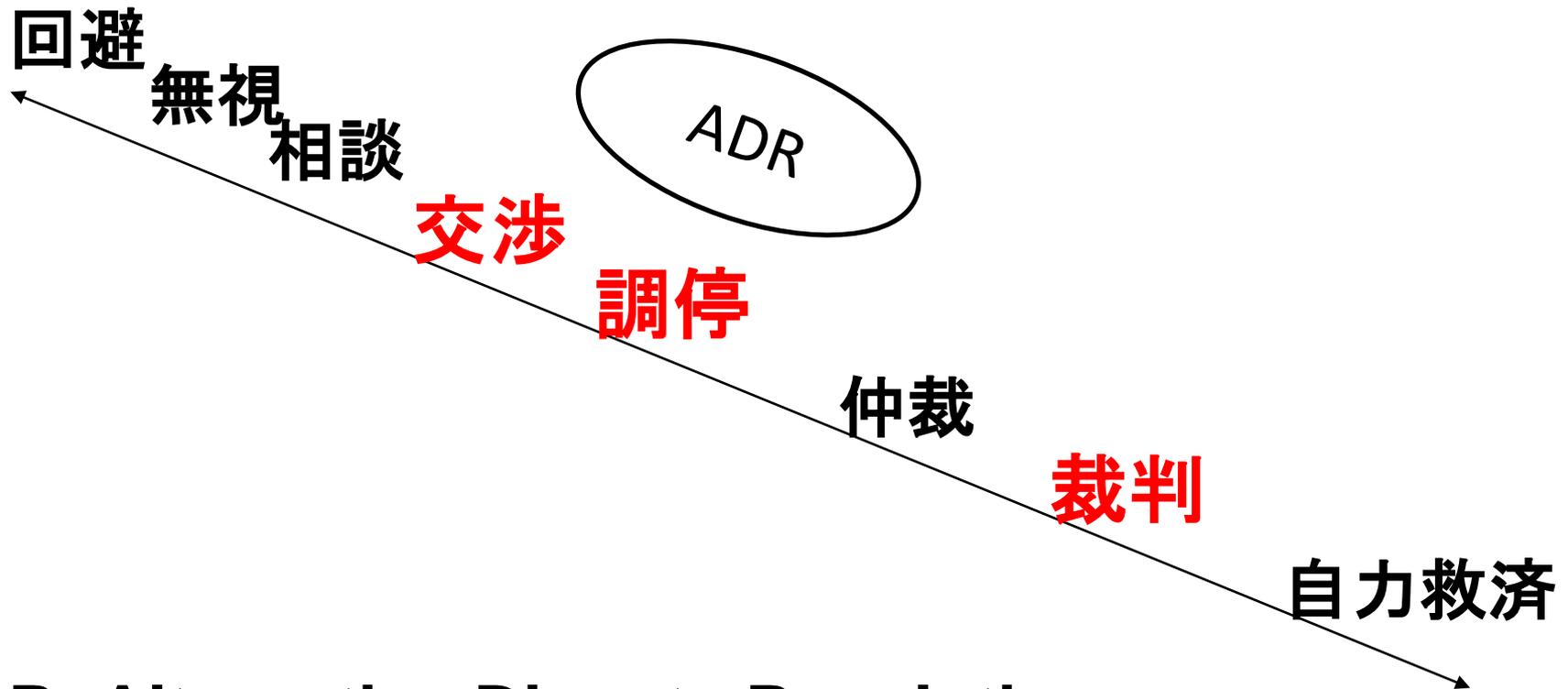
調停



仲裁・裁判



紛争解決の連続性



ADR: Alternative Dispute Resolution
裁判外紛争解決

米国における新しい調停の誕生

1970年代頃からの2つの流れ

上からのADR

- 交通事故訴訟の爆発的増大などによる司法の危機への対応。
- 司法の効率化、量への関心。
- パウンド会議(1976年)

下からの隣人調停

- 公民権運動の影響。市民による市民のためのエンパワメントとしての紛争解決を目指す。
- 非エリート、市民による参加。質への関心。
- コミュニティ調停、近隣調停センター(NJC)。